

メディアを読み解き、 創造・発信する力

私たちの身の回りには様々なイメージやメッセージが氾濫しています。

それらを媒介するものをメディアと呼ぶとき、メディアは私たちの思考や行動に少なくない影響を及ぼしているはずです。

氾濫する情報を適切に取捨選択すると同時に、自ら創造・発信していくためには、イメージやメッセージが形成・伝達される過程や背景を知ること、あるいはそれらが社会や文化の中で果たす役割を理解することが役立つと言えます。

本公開講座では、情報を媒介するあらゆる事象・事物をメディアと解釈し、日常生活に氾濫する様々なイメージやメッセージへの接し方、そして自ら情報を創造・発信していくことの意義などを、グローバルな視点も含め考えてゆきます。

- 第1回** 6月11日(水)
■戦争と情報操作、そしてメディア…………… 春名 幹男
- 第2回** 6月13日(金)
■アニメーションから見えるコミュニケーションのカタチ…… 池側 隆之
- 第3回** 6月18日(水)
■可視化される社会的弱者…………… 八幡 耕一
-オルタナティブ・メディアの可能性
- 第4回** 6月20日(金)
■インターネットによる動画情報発信…………… 後藤 明史
- 第5回** 6月25日(水)
■見立て番付から見る文化発信の諸相…………… 伊藤 信博
-料理、食物、名物番付を中心に
- 第6回** 6月27日(金)
■モラルパニックにおけるメディアの役割…………… エドワード・ヘイグ
-イギリスラジオニュースに見られる青年犯罪
- 第7回** 7月2日(水)
■モダンダンスとメディア…………… 山口 庸子
-書籍・写真・映画
- 第8回** 7月4日(金)
■日本社会とモバイル・コミュニケーションの変容…………… 金 相美

開催期間:6月11日(水)から7月4日(金)まで 毎週水・金曜日 全8回

開講時間:18:30~20:00

受講対象者:一般社会人、大学生、大学院生

募集人数:60名(先着順)

受講料:7,200円(募集要項に入っている「納入依頼書」により郵便局へ払込)

開催会場:名古屋大学 東山地区 文系総合館7階カンファレンスホール

申込締切:5月29日(木)まで[必着]

申込方法:郵送に限ります。詳しくは募集要項をご覧ください。

要項の請求:募集要項の必要な方は、名古屋大学国際言語文化研究科1階の事務室まで直接お越し頂くか、または、返信用封筒(80円切手貼付のこと)を同封の上、下記申込先まで請求して下さい

申し込みと問い合わせ先

名古屋大学文系事務部教務課(国際言語文化研究科)

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-5(700)

TEL:052-789-5245[AM9:00~PM5:00] FAX:052-789-4921

ホームページ:<http://www.lang.nagoya-u.ac.jp/events/2008/kokaikoza-2008.pdf>